

議会だより



那珂川町

なかがわ

2009.11.10

17

●発行／栃木県那珂川町議会 ●編集／那珂川町議会広報特別委員会
〒324-0595 栃木県那須郡那珂川町小川2814-1 電話0287(96)2112
e-mail gikaigiji@town.tochigi-nakagawa.lg.jp

主な内容

- ① 議長就任あいさつ 2
- ② 第5回定例会 2～5
- ③ 第6回臨時会 5
- ④ 一般質問 5～12
- ⑤ 子ども議会開催 13
- ⑥ 議会のおごき・編集後記 14



第5回 定例会

新議長に石田彬良議員が就任

平成20年度一般・特別会計決算(歳出138億3,735万円)を認定

平成21年第5回那珂川町議会定例会は9月8日に開会し、会期を15日までの8日間と定め、一般質問及び議案等の審議を行いました。

今期定例会において、小川洋一議長及び大金伊一議員より議員辞職願が提出されたことから、議員辞職の許可、議長選挙を行いました。

平成20年度各会計決算については、9日の本会議において議員全員による決算審査特別委員会を設置し、10日～15日にかけて細部にわたり審査を行い、最終日15日の本会議において一般会計及び8特別会計並びに水道事業決算を認定しました。

また、財政健全化法に基づく報告のほか、人権擁護委員、監査委員、教育委員の人事案件、馬頭東部3小学校統合に伴う学校設置条例改正などの町条例改正3件、緊急経済対策に伴う一般会計ほか4会計の補正予算、工事請負契約締結などの議案が提出され、原案のとおり可決しました。

そのほか、選挙管理委員の選挙、議員派遣、請願・陳情2件、議会構成議案等の審議を行いました。

今議会の一般質問には、7名の議員が登壇しました。

就任あいさつ



いしだ あきら
石田彬良議長

9月15日の第5回那珂川町議会定例会におきまして、議長辞任に伴い、議員各位のご推挙により第4代議長に就任いたしました。身に余る光栄であり、責任の重さを痛感しています。

議会の役目は、町が執行する事務事業が適切に、しかも公平かつ効率的になされているかを監視することです。町総合振興計画や行財政改革推進計画に基づき、町民の皆様のために、よりよい町づくりができるよう、町と議会が努力していかなければなりません。

今夏に執行された衆議院議員総選挙の結果、政権が交代し、国の政策も今までは違った流れになってくるものと思われれます。当町

のように財源の多くを国・県の交付税や補助金で賄っている自治体にあつては、厳しい財政運営を強いられる可能性が高く、予断が許されない状況です。

那珂川町が誕生してから5年目に入りましたが、依然として少子高齢化の進行は止まらず、来春には東部地区の大内、谷川、大田の3小学校が統合する予定であり、地域の中心となってきた学校が、また無くなる状況にあります。教育が終了した若年層が当町を離れていく残念な状況でもあり、町が存続していくためには、雇用の場の確保を真剣に考えていかなければなりません。

本年は、町内全域を対象としたケーブルテレビ高度化事業が完成し、今後、町民間の情報の共有化と福祉の向上に大きく寄与するものと期待しているところであり、町の振興のために議会として町民の皆様のご託にこたえられるよう、最善の努力をいたす所存ですので、皆様の尚一層のご指導、ご

鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、就任のあいさつといたします。

議会構成

◆議員の辞職許可

定例会最終日に、小川洋一議長及び大金伊一議員より議員辞職願が提出されたことから、異議なく辞職を許可しました。

議員辞職に伴い、議員数が16名となりました。

◆議長選挙

議長の欠員に伴い、定例会最終日に議長選挙を行い、石田彬良議員が議長に当選しました。

◆議会運営委員の変更

議会運営委員会の構成を次のとおり変更しました。

委員長	川上 要一
副委員長	桑原 勇一
委員	岩村 文郎
	阿久津武之
	橋本 操
	杉本 益三

決算認定

◆平成20年度那珂川町 会計の決算認定

平成20年度各会計決算については、9月9日の本会議において、監査委員の審査意見を付けて決算認定議案が上程されました。

決算の審査にあたっては、議員全員を構成とした決算審査特別委員会（委員長 岩村文郎議員、副委員長 阿久津武之議員）を設置し、9月10日から15日にかけて執行部からの説明を受け、細部にわたり各会計決算の審査を行いました。

9月15日の本会議において、委員長から「原案のとおり認定すべきもの」との審査結果の報告を受け、反対討論3議員、賛成討論3議員の後、会計ごとに採決を行い、全ての会計の決算を認定しました。（決算内容等の詳細については、広報なかがわ10月号をご覧ください。）

会計名	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	認定結果
一般会計	9,196,406,314	8,755,529,342	8,178,942,092	576,587,250	賛成多数
国民健康保険	2,045,700,000	2,115,782,362	1,989,404,104	126,378,258	賛成多数
老人保健	218,000,000	219,260,304	212,456,156	6,804,148	賛成多数
後期高齢者医療	144,100,000	143,374,295	140,560,942	2,813,353	賛成多数
介護保険	1,158,000,000	1,194,138,151	1,139,244,097	54,894,054	賛成多数
ケーブルテレビ事業	1,482,700,000	1,496,458,285	1,454,263,082	42,195,203	賛成多数
下水道事業	388,100,000	392,816,520	377,309,549	15,506,971	賛成多数
農業集落排水事業	48,346,000	48,125,213	46,907,968	1,217,245	全員賛成
簡易水道事業	311,600,000	321,120,993	298,265,121	22,855,872	賛成多数
計	14,992,952,314	14,686,605,465	13,837,353,111	849,252,354	

水道事業	予算額	収入	支出	収入支出差引額	認定結果
収益的収入及び支出	235,495,000	238,166,207	224,132,351	14,033,856	賛成多数
資本的収入及び支出	91,400,000	90,185,950	185,203,544	-95,017,594	

※資本的収支における不足額は、当年度分損益勘定留保資金、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、建設改良積立金により補填

平成20年度各会計 歳入歳出決算の内訳

報告

◆平成20年度健全化判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、監査委員の審査意見を付けて平成20年度決算に関する町の財政指数が報告されました。

項目	平成20年度決算に係る比率 %	早期健全化基準又は経営健全化基準 %
健全化判断比率		
実質赤字比率	—	14.53
連結実質赤字比率	—	19.53
実質公債費比率	12.70	25.00
将来負担比率	63.80	350.00
資金不足比率		
水道事業	—	20.00
下水道事業	—	20.00
農業集落排水事業	—	20.00
簡易水道事業	—	20.00

※「—」は赤字又は資金不足を生じていないことを示します。平成20年度決算における比率は、いずれも基準内となっています。

財政指標を公表することになりました。

指標は、財政の健全化を判断する比率と事業会計における資金不足の比率を表すもので、国の定める基準を上回る場合は、財政健全化計画や財政再生計画の策定が義務付けられます。

人事案件

◆人権擁護委員の推薦

堀江喜代美さん（白久）

12月31日に任期が満了となる岸 礼美さん（片平）の後任委員として、法務省に推薦することについて、議会の意見を求められたことから、異議なく賛同しました。

◆監査委員の選任

小沼 功一氏（再任）

11月27日に監査委員の任期が満了となるため、引き続き同氏（谷川）を監査委員として選任することについて、議会の同意を求められたことから、異議なく賛同しました。

◆教育委員会委員の任命

高田 榮順氏（小川）
平塚正一郎氏（富山）

永森正俊教育委員長（小川）及び平塚正一郎委員（富山）が11月28日に任期が満了となるため、高田氏（新任）及び平塚氏（再任）を任命することについて、議会の同意を求められたことから、異議なく賛同しました。

条例

◆国民健康保険条例の一部改正

（全員賛成 原案可決）
国の健康保険法施行令等の改正に伴い、平成21年10月1日から平成23年3月31日の間に出生された方に支給する国民健康保険の出産育児一時金の額を、暫定措置として「35万円」から「39万円」に引き上げることとしました。

また、出産一時金を町から医療機関へ直接支払う制度を創設しました。

◆町立学校の設置に関する
条例の一部改正

(賛成多数 原案可決)
大内小、谷川小、大山田小の3校を統合し、平成22年4月1日から新たに「馬頭東小学校」とすることとしました。



平成22年4月から馬頭東小となる大内小

◆町消防団員の定員、任免、
給与、服務等に関する条
例の一部改正

(全員賛成 原案可決)
町消防団員の減少に伴い、定数を現状の団員数とするため、「604人」から「549人」に改正しました。

補正予算

◆平成21年度一般会計補正
予算

(賛成多数 原案可決)
国の経済危機対策による事業を実施するための地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び地域活性化・公共施設投資臨時交付金事業と国県補助事業の追加分を計上し、総額9億6,000万円の予算を増額しました。

◆平成21年度国民健康保険
特別会計補正予算

(全員賛成 原案可決)
後期高齢者支援金の確定と人間ドック利用者増に伴う費用負担分など、総額3,800万円の予算を増額しました。

◆平成21年度老人保健特別
会計補正予算

(全員賛成 原案可決)
平成20年度老人医療費支払基金交付金の清算に伴い、社会保険診療報酬支払基金への償還金を360万2千円増額しました。

◆平成21年度簡易水道事
業特別会計補正予算

(全員賛成 原案可決)
国の経済危機対策による事業を活用して、老朽管布設替えと簡易水道設備の新設・更新を行うため、総額7,665万円の予算を増額しました。

◆平成21年度水道事業会
計補正予算

(全員賛成 原案可決)
国の経済危機対策による事業を活用して、老朽管布設替え、水道設備の更新、水源調査等を行うため、総額5,639万円の予算を増額しました。

【経済危機対策事業】

国の経済危機対策により「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」として、町に約3億2千万円が交付されるとともに、「地域活性化・公共投資臨時交付金」も交付されることから、総額9億円規模の事業が補正予算に盛り込まれました。主な事業の内容は次のとおりです。

経済危機対策事業の内容

道路の整備(町道一渡戸大鳥線ほか6路線)	約2億1,600万円
上下道の整備(水道管布設替及び水道設備更新)	約1億3,200万円
下水道の整備(合併浄化槽整備)	約1,700万円
電子地番図等の作成	約4,500万円
ケーブルテレビ使用料免除	
学校の電子黒板、デジタルテレビ等の整備	約4億1,400万円
小川中学校校舎耐震工事及び体育館新築工事	
小学校施設耐震診断	
農地有効利用支援整備(土地改良区支援)	約600万円
遊休農地解消対策	
プレミアム付商品券発行	約900万円
観光看板設置	
低公害車購入	約6,000万円
小川中学校太陽光発電施設整備	
バイオマス研究	

各会計補正予算一覧 (単位:千円)

会計名	補正前の額	補正額	計
一般会計	7,474,000	960,000	8,434,000
特別会計	国民健康保険	38,000	2,042,000
	老人保健	3,602	8,602
	簡易水道事業	76,650	241,650
計	9,648,000	1,078,252	10,726,252
会計名	補正前の予定額	補正予定額	計
水道事業会計	収益的支出	5,000	232,200
	資本的支出	51,390	196,815

契約締結

◆防災行政無線(移動系)
施設改修工事

(全員賛成 原案可決)
契約の方法
一般競争入札 4社
契約金額
3,202万5千円
契約の相手
福島県郡山市
富士テレコム(株)郡山支店

選挙

◆選挙管理委員会委員及
び補充員の選挙

町選挙管理委員会委員及び補充員の任期が11月27日に満了となることに伴い、指名推薦により選挙を行い、次の方々が当選人と決定しました。

選挙管理委員

- 平澤 照雄氏(小川)
- 屋代 正人氏(大山下郷)
- 伊藤 博康氏(浄法寺)
- 荒井 進氏(矢又)

補充員

菊池 洋介氏 (小川)

山田 廣充氏 (健武)

鈴木 文男氏 (白久)

谷口 定子さん (馬頭)

は補充順位

◆南那須地区広域行政事務組合議会議員の選出

当町議会選出の南那須地区広域行政事務組合議会議員1名の欠員に伴い、指名推選により「杉本益三議員」を選出しました。

議員派遣

栃木県町村議会議長会主催町村議会議員研修会

派遣場所 宇都宮市

派遣日時 10月27日

派遣議員 全議員

議員行政調査

派遣場所 滋賀県愛荘町

派遣日時 11月16日

派遣日時 11月16日

派遣議員 全議員

派遣議員 全議員

請願・陳情等

◆請願

「請願書 ニコニコバス廃止に関する請願」

請願者 むつみ会保護者

代表 藤田裕之

紹介議員 福島泰夫議員

川上要一議員

橋本 操議員

杉本益三議員

審査経過

総務企画常任委員会に審査を付託(継続審査)



◆陳情等

「幼稚園の統廃合に関する陳情書」

陳情者 むつみ会保護者

代表 藤田裕之

審査経過

教育民生常任委員会に審査を付託(継続審査)

第6回臨時議会

平成21年第6回那珂川町議会臨時会を10月23日に開催し、次の議案を審議しました。

なお、議案審議後、川崎和郎町長が11月5日をもって退任されることから、任期満了に伴うあいさつがありました。

財産取得

◆町有バス(1台)

(全員賛成 原案可決)

契約の方法

指名競争入札 4社

取得価格

1,468万575円

契約の相手

那珂川町

(有)ヌヴォラーリ

◆スクールバス(1台)

(全員賛成 原案可決)

契約の方法

指名競争入札 3社

取得価格

1,231万2千660円

契約の相手

那須塩原市

栃木いすゞ自動車(株)

那須営業所

一般質問 ここが聞きたい!

紙面の内容は、質問・答弁とも質問者自らが要約、執筆したものを掲載しています。

第5回町議会定例会の一般質問(一問一答方式を試行中)に、7議員が登壇しました。

9月8日(火)の質問者 5名

- 大森富夫 議員 地域経済活性化策及び振興策について 地域医療の充実について
鈴木和江 議員 新農業委員会会長の所信について
小林 盛 議員 公衆トイレの設置と利便性について 限界集落への町の対応について
川上要一 議員 北沢の不法投棄問題の解決のあり方について
益子明美 議員 環境と共生するまちづくりについて
那珂川町社会体育施設の拡充・整備について
那珂川町の小学校外国語活動について 女性専用のカウンセリング事業の実施について 県営産廃最終処分場問題について

9月9日(水)の質問者 2名

- 桑原勇一 議員 地域振興策について 道路整備について 町営・町有住宅について
福島泰夫 議員 町有バスについて 小学校の英語教育について ケーブルテレビについて

地域経済活性化策は 地域密着型事業で



大森 富夫 議員

質問 国の08年度第2次補正予算及び09年度補正予算の交付金等により、当町の平成21年度一般会計補正予算に9億円規模の経済危機対策事業が組まれたが、その内容を見ると、地域の雇用対策や経済危機対策など本来の使用等に使われず、通常の計画に充当され、便宜的に使われた感を持つ。

交付金が実際に地域に落ちるよう、雇用や暮らしの対策など、町民の収入を増やすための地域に密着した事業に取り組むべきではないか。

答弁 (町長) 地域経済の一刻も早い回復に向け、国の経済危機対策を的確に活用して地域課題を解決し、厳しい状況乗り越えなければならぬと考える。9月補正予算編成においては、国の対応に呼応し、町総合振興計画を念頭に、懸案となっていた課題を中心に事業を計画した。約9億円規模の公共事業の実施により、雇用や子育て、地域活性化など様々な振興策が図れるものと確信している。

地域医療の充実で 安心の町づくりを

質問 住み良い町づくりには地域医療の充実が欠かせないものであり、住民に必要な医療を提供するために町の果たす役割は重要である。

国は、公立病院改革ガイドラインを示し、再編ネットワーク化を提起して地域から公的病院を無くす計画を推進している。

地域から中核病院が無くなることは、住民にとって死活問題であるが、那須南病院の赤字対策や大田原赤

十字病院の移転に伴う町の助成策をどのように考えているか。また、子供医療費助成策については再三、一般質問で拡充策を求めてきたが、過疎地域における子育て支援の率先した取り組みとして、義務教育終了時まで子供医療費助成を拡充する考えがあるか。

答弁 (町長) 那須南病院は、南那須地区唯一の一般病床を有する病院であり、公立中核病院として住民の命と健康を守るべく、地域の医療需要に対応した運営を行っている。

赤字対策として、病院改革プランを策定し、医師確保や経営効率化を図り、経営改善を行っていくこととしている。また、広域圏の2次救急医療も担っており、地域における重要な医療機関と考えており、健全運営のために支援を続けたい。

大田原赤十字病院移転の助成は、病院側からの要望もあり、県北部地域の中核病院としての安心・信頼の医療確保、良質な医療の提供体制の充実を図るための病院整備であることから、

事業費の一部助成を考えている。

(健康福祉課長) 子供医療費助成については、前回答弁同様、県の補助金内での助成を基本に対応していきたい。現在、県では小学校6年生までの拡充について検討しており、当町においても次年度以降に拡充の方向で進むものと考えている。



那須南病院

地域農業振興に力を 新農業委員会会長抱負は

質問 地域農業に取り組む環境は大変厳しい状況にあり、県下で最も耕作放棄地の多い町となっている中で、

農業委員会の果たす役割は大変重要と考えるが、遊休農地対策、町内農産物の価格保障と農家の所得補償対策、後継者育成や担い手確保対策、農地法の改正に伴う対応等について、新農業委員会長の抱負を伺う。

答弁 (農業委員会会長) 農業情勢は大変厳しく重要課題も山積しており、農業経営安定化に向けて町と協力しながら農政活動を推進していきたい。

遊休農地対策は、町や関係機関と連携を密にしながら、再利用の促進に取り組んでいきたい。

農産物の価格保障と農家の所得補償は国の政策であるが、農業委員会等に関する法律に基づき、意見公表や建議要望を行っていきたい。

後継者育成や担い手確保対策は、農業者、農協、町及び農業関係機関が一体となって取り組んでいく必要があると考える。

農地法の改正は、農業を守り、農地を確保・維持し、有効利用を図るためのものと理解している。

高齢化進行の中で 早期に限界集落対策を



鈴木和江議員

質問 限界集落に対する町の考えについて次の点を伺う。

当町でも年々高齢化が進み、地域として社会的な共同生活の維持が困難な状況が生じている。
町として、これら地域への対策をどう考えているのか。また、特に高齢化率が高い地域を対象に先導的な取り組みができないか。

行政と地域住民との関係をも、より確かなものとするため、集落を定期的に巡回し、住民の生活状況や農地・森林の状況を把握し、行政との橋渡しをする「集落支援員」を設置してはどうか。

答弁（町長） 町の65歳以上の高齢化率は、合併時の

25%から現在、28%を超える状況である。

当町は、限界集落としての定義の範囲には入ってないが、少子高齢化の進行により過疎化が進み、集落の事業にも支障をきたすなど、地域コミュニティの維持が困難な地域も出てきている。また、行政区を対象としたアンケートでも、不安を感じているなど問題意識を持った意見もあつた。

町は、高齢者が住みなれた地域で安心して生活ができるよう、平成18年度に地域包括支援センターを設置し、地域における高齢者の心身の健康維持、生活安定のための必要な援助、支援事業を包括的に推進している。また、高齢者等交通弱者の足を確保し、地域の需要に応じた効果的な地域公共交通体系を構築するため、デマンド型交通システム導入を検討

しており、高齢化社会への対応のための事業を進めている。

現在、地域住民との協働の町づくり推進計画の策定を進めており、この中で、行政区をはじめとする地域団体等と、どのような形で協働の取り組みができるのか検討している。

現在、協働の町づくり推進の一部として、地域住民と地域を担当する町職員が一緒になって生活や地域問題解決、地域づくりを行う「地域担当職員制度」を検討している。



自然豊かな住みやすい集落は維持できるのか

なぜ役場前に公衆トイレが設置されないのか

質問 今年度、室町小公園に公衆トイレが設置されたが、どのような経緯で設置されたのか。大山田、大内地区住民は、町営バスの停留所となっている役場前に公衆トイレを設置してほしいとの要望であつたと思うが、この点は検討されたのか。また、なぜ役場前に設置できなかったのか。

事業費と維持管理はどのようなになっているのか。

答弁（建設課長）平成12年の馬頭広重美術館の開館に伴い周辺整備を行うため、委員会を組織して地元商店会や行政区等の代表者と協議を行い、平成14年度に「町並み環境整備事業計画」を策定した。事業は、平成15年度に着手し、商店街建物の外観改修、公園整備、街路灯の整備が主なもので、計画に基づいて平成20年度に室町小公園を整備し、この中にトイレを設置した。トイレの位置につい

ては、既存トイレの設置状況や歩行者の流れ、商店街の利用状況等を総合的に勘案して判断した。

役場前については、他の市町でも庁舎周辺にトイレを設置しているところが少ない状況であり、庁舎内のトイレも利用でき、今回設置した場所からも離れていない状況にもあることから、地元の意向が反映された結果となつた。

今年度の事業費は1,600万円程度で、管理はシルバー人材センターに委託している。



整備された室町小公園と公衆トイレ

不法投棄解決に 県営処分場設置の法的根拠は



小林 盛 議員

質問 北沢の不法投棄物については、県は平成12年に詳細調査を実施し、その結果、全量撤去が必要であると新聞や広報紙等で発表した。

県は、その解決策として、備中沢に県営の産廃最終処分場を設置して処理することが、実現可能な最善の方法であるとし、町と基本協定を結んで処分場の設置許可申請を提出している。

不法投棄の解決は、不法投棄犯罪の解決であり、行政が法的効果を伴う行政行為として、法令を解釈適用して行う行為と考える。また、法律に則った解決が、今後の不法投棄の抑制にも繋がってくるものと考ええる。

前回までの質問では、な

ぜ産廃特措法を適用しないで処分場を設置するのか、法的根拠に対する明確な回答がされていない。また、処分場設置が法律に沿った解決のあり方であるならば、法律を根拠に説明をされたい。

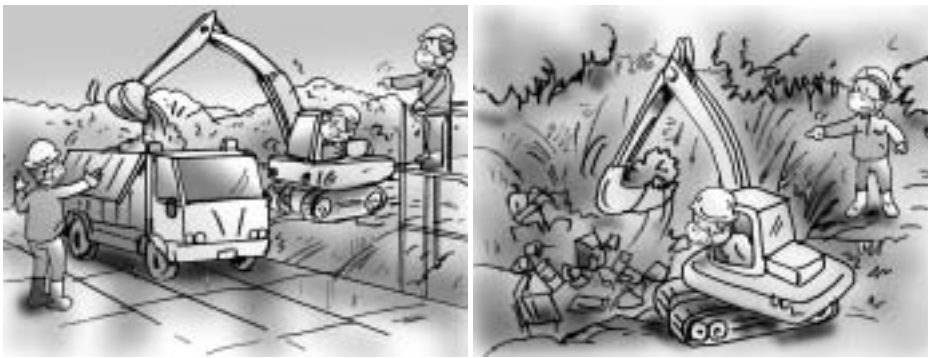
答弁（町長）今まで答弁してきたとおり、県営産廃最終処分場を早期に整備して不法投棄物を撤去することが、実現可能な最善の方法と考えている。

町の環境は町の宝であり、町の環境を保全するために処分場を設置して、不法投棄物を全量撤去することが環境保全上、大変重要である。

地域住民の安全・安心確保の面からも、北沢地区に不法投棄された廃棄物を撤去することを最優先に考え、現実的な問題として、最終的に処分場を設置する以外に方法はないと考えている。

県が県営管理型最終処

分場を設置して処理することを決定するまでには当然、産廃特措法の適用についても検討されたものと考えており、今までの調査や検討結果、既に不法投棄者が死亡したり、経済的な能力がない等の現実から判断し、決定されたものと考えている。



法律に基づく不法投棄物の早期撤去を

環境の町づくり説明会は趣旨が伝わったのか

説明会は、6月23日から8月11日までの間、19会場で開催し、約400名の出席があった。

質問 町は、美しい自然と共生する町を町総合振興計画に掲げ、町内各地域において「環境のまちづくり説明会」を開催してきたが、住民には、その趣旨があまり伝わっていないように感じるが、町は住民に何を訴えたいのか。何をどうしようとしているのか。また、説明会には、何人の参加があり、どのような意見があったのか。

答弁（環境総合推進室長）環境のまちづくり説明会は、まちづくり3大重点プロジェクトに位置付けられた自然環境との共生推進プロジェクトの一環として、本年3月に策定された環境基本計画の周知を柱とし、ごみ分別の徹底化や生活排水処理人口の普及向上を目的として開催した。

説明会では、計画の内容とともに、一人でも多くの皆さんが環境について関心を持ち、一人一人が出来ることから取り組みをお願いした。説明会の詳細は、広報ながわ9月号に特集として掲載したので、ご覧いただきたい。



環境にやさしいきれいなまちに

町スポーツ振興のために 社会体育施設の整備・拡充を



川上要一議員

質問 当町では、小・中学生や高齢者をはじめとする多くの町民の活躍により「スポーツの町・那珂川町」

が県内外にアピールされており、県内外から多くのスポーツチームが来町し、当町の運動施設を利用した各種競技会も開催されている。

利用者や町民から社会体育施設の整備や拡充について、要望や意見があることから次の点を伺う。

芝生のグラウンドを求めて、休日には多くのサッカーチームが来町し、選手、保護者、大会関係者などが第川リバー公園を利用していているが、グラウンドにトイレが設置されていないことやまほろばキャンプ場トイレ

まで距離があることから、マナー違反も見受けられる。河川敷には構造物が設置できないことから、グラウンド周辺の地権者に協力を得てトイレを設置できないか。

また、公園内の芝生グラウンドには数か所の凹凸があるが、利用者の安全と効果的な利用のために改善ができないか。

サッカーやフットサルの振興・強化に向けて、近年、8人制のサッカーやフットサルが推奨されているが、競技スペースも現在の半分で済むことから、交流人口増加のためにも小川総合福祉センター東側の芝生グラウンドを活用できないか。

小川運動場に散水設備を設置してほしいとの要望があり、関係者や保護者からは、ボランテニアで作業に協力したいとの申し出もあるが、グラウンドコンディションや競技選手のケガ等の防止のためにも散水設備を設

置することはできないか。老朽化に伴う小川中学校体育館の建替えが計画されているが、どのような規模・設備を考えているのか。また、新しい体育館は、これまで同様、町民に一般開放されるのか。



利用が増えた第川リバー公園広場

設置して対応したいと考えている。本年度は9月から12月までの設置期間を考えている。

また、当公園は、サッカー用に整備されたグラウンドではなく、河川に設置した広場であることから、4か所程度、マウンド状の場所がある。県が河川を占用していることから、今後、県と協議しながら広場の改善方策等を検討していく。

小川総合福祉センター東側の芝生グラウンドは、8人制であれば2面程度のコートがとれると考える。現在、グラウンド・ゴルフの団体が利用していることから、関係団体、関係課と協議、検討する。

小川運動場の散水設備については、利用団体からも要望が出ている事項であり、早い時期に整備できるように検討したい。

(学校教育課長) 小川中学校体育館については、6月に設計業務を発注し、現

在設計を行っているところであり、学校側と協議の上、その意向を十分反映して進めている。

建設場所は、学校北側のプール跡地とし、鉄骨造、延べ床面積約1,200㎡で、主な設備はアリーナ、ステージ、器具庫、管理室等を計画している。現在の体育館アリーナより約180㎡広くなり、公式バスケットボールコート1面がとれる広さとなる。

また、中学校体育館の一般町民への開放については、引き続き実施していきたい。

答(生涯学習課長) 河川法上、河川区域内には常設の構造物を設置できないこととなっている。利用団体等も増加傾向にあることから、当面、仮設トイレを



建て替えられる小川中学校体育館

那珂川町の英語教育は 後退していないか？



益子明美議員

質問 小学校の英語活動について次の点を伺う。

小学校の英語活動の指導体制は、学級担任又は英語活動を担当するALT(外国語指導助手)若しくは日本人外国語教師とのTT体制(複数指導体制)をとることが望ましいと学習指導要領にも明記されている。英語活動は、発音の聞き取りの重要性からも、英語を母国語とするALT等から指導を受けることが望ましいと考えるが、町では、なぜALTではなく、日本人外国語教師を設置しているのか。

英語活動の目標は、英語を通じて言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーション

を図ろうとする態度の育成を図り、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーションの能力の素地を養つとある。

現在の英語活動では、教室が狭く、授業の中でクラスメイト同士のコミュニケーションの機会が不足しているように感じる。英語活動のための専用の広いスペースを作り、活用すべきではないか。

昨年まで、幼稚園、保育園、小学校の全学年に英語を母国語とする町職員が訪問をしており、外国の言葉や文化に触れる機会が町の園児や児童に多くあったように感じる。

今年からは、その機会がなくなり、英語活動の後退ではないかと危惧する住民の声が聞かれる。再びそのような機会を作り、英語教育の充実を図るべきではないか。

答弁(教育長) 小学校の教員は英語のプロではない

ので、今年度は外国語活動を指導する教員とコミュニケーションが取りやすいことを第一義に考え、日本人外国語教員を配置した。

外国語活動の中では、音声ばかりでなく、様々なジェスチャー等を含めたコミュニケーションの手段が必要と考えるし、その際に動作を自由に取ることも必要であり、各学校の空き教室等を有効活用したいと考えており、馬頭小や小川小については教室を確認し、多目的で効果的に活用できるような教室を設置したい。

後期からは英語を母国語とするALT採用を検討しており、小学校、幼稚園、保育園等を巡回させたい。優れた人材を確保して、10月から活動できるよう準備を進めたい。

女性専用のカウンセリングの実施を

質問 近年、地域のつながりや家族形態の変化、女性の社会進出など環境の変化から、誰にも相談できずに悩みを抱える女性が増えて

いる。子育てと仕事の両立、DV問題や家族問題などを相談できる専門の女性臨床心理士によるカウンセリングを受けることができるよう、体制作りをすべきではないか。

答弁(町長) 現実にDV被害や虐待、セクハラなどの悩みを抱え込み、うつ病に陥っているというような話も聞いている。町では月1回、精神科医師の相談会を設けて心の相談全般を受け、必要に応じて専門カウンセラーを紹介している。カウンセリングの特徴として、継続療法が効果的な場合がほとんどなので、そうした場を提供できるか、今後検討していきたい。



気軽に相談できる体制を

不十分で危険な未然防止対策は見直すべき!

質問 北沢の不法投棄地に汚染拡大未然防止策が取られることになったが、町はこの未然防止策を必要十分なものと納得しているのか。

また、住民説明会が小口梅平地区と小口・和見・小砂地区で開かれ、各地区からは、県が示した未然防止対策に対する不備や不安視する声が上がリ、質問に対する回答や問題点の改善などの要望が出されている。

こうした住民の声を聞いて、住民が納得するまで未然防止策に着手すべきでないかと考えるが、町長はどう判断するのか。

答弁(町長) 指摘のよつに、この方策が万全と言えない面もあると考える。今後、県において今回の住民要望に対応できる設計になってくると考えるし、当然、町からも県に伝える。

また、設計が出来上がった時点で再度、住民との協議の場が必要であり、そのように進めていく。

地域振興に「そば」を活用しては



桑原勇一議員

那須烏山市の各種団体で構成する「八溝そば街道推進協議会」が設立され、活動が開始されたところである。

質問 南那須地区は、そばの産地としても知られており、県・町・農協・地域を挙げて「八溝そば街道」に取り組んでいることから次の点を伺う。

八溝そば街道の今後の計画は、

耕作放棄地対策として、東部地区を中心に八溝そばの作付けを推進し、地域活性化につなげてはどうか。そばの生産拡大と価格安定をどのように考えているか。

答弁（農林振興課長）八溝そば街道は、栃木食の街道事業の一環として、南那須地方の「そば」を核とした地域づくりを目的に指定されたことから、那珂川町と

那須烏山市の各種団体で構成する「八溝そば街道推進協議会」が設立され、活動が開始されたところである。八溝そば街道づくり構想は、南那須地方を南北に縦走する国道294号を基軸に、1年を通じて味わえるそばを中心に、農産物直売所や地域の特産品を結びつけ、四季折々に楽しめる魅力ある食にこだわった地域活動を目指している。現在、そば生産者とそばを提供する食堂の交流会やそば街道マップの作成、イノシシ肉などの地域資源を活用した地域独自のメニューの開発等を進めており、更に茂木町、市貝町が協議会に加盟し、組織拡大と魅力ある活動を行い、地域活性化につなげる計画である。町東部地区は、旧来、葉タバコ生産の裏作として、そば作付けの実績があるが、耕作放棄地増加の要因が、従事者の高齢化、農機具購

入の負担、農産物の価格低迷、採算性の問題等であり、多くの課題を解決しないと作付けを奨励することは難しいと考える。今後、そば生産者を対象に組織を立ち上げ、諸問題を解決し、耕作放棄地を活用しながら、生産拡大を図り、地域活性化につなげたい。そばの生産拡大と価格安定のため、八溝そばのブランド化を目指しているが、安定した価格を確立するには、品質や安定供給できる数量の確保など、市場ニーズに対応した生産体制が必要であることから、生産者



八溝そばで地域振興を

団体と共に諸問題を解決しながら、那珂川町の特産品として成長させていきたい。

町道の整備について

質問 町道一渡戸大鳥線の道路改修は、今後どのような計画なのか。

また、町道仲内大内線の矢又脇郷地内の道路は、約40年以上整備がされていない状況であるが、今後の整備予定はどのようになっているのか。

答弁（建設課長）町道一渡戸大鳥線は、県道に連絡する1級町道であり、県の代行業業により一部整備が完了したが、カーブや舗装が傷んで箇所もあることから、危険箇所解消のために補修・修繕を行い、安全な通行を確保していく。町道仲内大内線は、長期間、部分的な修繕等に対応してきたが、通行の安全を確保するため、国道293号との交差点を起点として、一定区間、全面的な舗装を行うこととしている。

町営・町有住宅の整備計画はあるのか

質問 現在の町営・町有住宅の同居状況は。また、今後の住宅整備、新築の計画はあるのか。

答弁（町長）現在、町営住宅234戸、町有住宅21戸である。家賃が民間住宅に比較して安価であることから、概ね満室の状況にある。現在の住宅は、昭和40年代に建設されたものも多く、耐用年数が経過し、老朽化した住宅が約4割を占めている。また、耐震化済み住宅は3割であり、県平均の半分にも満たない状況である。

今後の住宅整備計画については、公営住宅等管理計画を策定したところであり、住宅の建て替えや既存住宅の活用を図り、耐震化率、水洗化率を向上させ、ゆとりある面積の住宅を提供し、少子高齢化社会に対応した環境に負荷の少ない住宅施策を展開していきたい。

老朽化した町有バスの更新は



福島泰夫議員

ないか。

また、車両を購入する場合は、減税やエコカー補助金の対象となるのか。

答弁（総務課長） 37人乗り中型バスが2台ある。

平成20年度利用実績は、総務課管理のバスは、年間154日で、町内20日、県内116日、県外18日である。また、小川庁舎管理のバスは、年間140日で、町内28日、県内97日、県外15日である。

町有バスは、町有車両管理規定に基づいて運行している。

運転業務は、シルバー人材センターに委託しており、これにかかる経費と燃料は利用者負担となっている。

走行範囲の定めは、特に無いが、県外利用については、運転業務の安全性を考慮しながら、受託者との協議に基づき、関東近郊までの運行を基本としている。

増車計画は無いが、総務

課管理のバスが、初年度登録から20年4カ月を経過し、走行距離も30万キロを超えて故障も多い。

排出ガス規制など、環境対策にも支障をきたしている。地域活性化経済危機対策臨時交付金の環境対策の一環として更新したい。また、構造上も、できる限り貨物が積めるような改良をした車を購入したい。

購入にあたって減税や補助等にも該当する見込みであり、約80万円程度軽減されると考えている。



20年以上お世話になった町有バス

ケーブルテレビの更なるサービス充実を

質問 新たなケーブルテレビ

図る。

音声告知の機器を馬頭庁舎、小川庁舎、消防馬頭・小川両分署に設置した。町内関係各課、機関と運用方法を協議しているが、生中継や企画番組の音声告知についても協議内容に加え検討する。

（健康福祉課長） 安否確認については、インターネット回線を利用し、対象者宅の様々な場所にセンサーを取り付け、動く量をデータ化して、その日の状況を確認し、動かなくなった場合は、業者から連絡が入るようなシステムを、本年11月から実施する予定である。

健康管理については、具体的な検討はしていないが、今後、総合的に検討している。

他に「小学校の英語教育について」の質問項目がありますが、省略します。

（一般質問は、紙面の都合により、一部掲載を省略しております。）

質問 町には町営バスやコミュニティバスなど、公共交通機関として利用されている車両のほかに、各種団体の研修や学校行事等、幅広く町民に利用されている車両（町有バス）があるが、この車両について次の点を伺う。

町民が利用できる町有バスの台数と規格は、各車両の年間の利用頻度は、

町有バス等の利用規定と走行できる範囲は、相当老朽化した車両もあると思われるが、増車や更新の計画はあるのか。計画があれば、部活遠征や海外研修の送迎など、大きな荷物がある場合にも配慮でき

第1回那珂川町子ども議会開催

次代を担う子どもたちが、自分の住んでいる町の姿を見つめ、快適で住みよい町を作るための夢や希望を發表し、行政の仕事や社会参加に関心を持ってもらうことを目的に、町教育委員会主催による第1回の町子ども議会（模擬議会）が、8月19日に開催されました。

子ども議会は、那珂川町となつてから初めて開催されたもので、町内8小学校の6年生16名が、実際の町議会の一般質問と同様の進行により質問席に登壇し、町執行部に対する提案や質問を行いました。

児童からは、地球温暖化やゴミなどの環境問題や公共施設の整備、自然や文化財を活かしたまちづくりなど、那珂川町の将来を見据えた提言がなされ、町執行部からは本番さながらの真剣な答弁がされました。

子どもたちは、初めての

模擬議会にもかかわらず、堂々と発言し、答弁を真剣に聞いていました。

私たち議員は、傍聴席から質問の様子を拝見していましたが、議会人として子どもたちの姿勢を見習うべきところがあったのではないかと感じています。

今回の子ども議会で、児童の皆さんが提案したことが、一つでも多く実現できることを町執行部に期待し、議会としても実現に向けて応援したいと思えます。

子ども議会に出席した皆さんの質問内容は、次のとおりです。（広報なかかわ9月号でも特集掲載）



キャップを集めて
ワフチンを届けよう！

議長	小口 楓美さん（馬頭小）	議長	藤田 歩実さん（小川小）
1	藤田 歩実さん（小川小） ①地球温暖化を防止するためには	9	長山 瑞季 君（馬頭西小） ①那珂川を利用した町づくり
2	島田 瑛大 君（馬頭小） ①芝生のグラウンドがあったら	10	岡 佐和さん（馬頭西小） ①町づくりについて
3	小泉 里奈さん（馬頭小） ①きれいで安全な施設	11	田所 拓朗 君（小川小） ①スポーツを通じて町全体が健康な町づくりをするために
4	佐藤奈々海さん（大内小） ①犯罪防止・事故防止のための街灯増設について	12	穴山 甲斐 君（薬利小） ①那珂川町の文化財保護・整備活動について
5	鈴木 康太 君（谷川小） ①豊かな自然とともに暮らす町にするために	13	小室茅帆美さん（薬利小） ①薬利小のこれからについて ②福祉について ③ゴミ問題について
6	小林 可奈さん（谷川小） ①花の名所で那珂川町の地域をつなげていこう	14	時庭 潤 君（小川南小） ①那珂川町をPRするキャラクターを作ろう
7	荒井 永遠 君（大山田小） ①武茂川の自然を活かし、子どもも大人も楽しく安全に遊べ、自慢のできる川がある町づくり	15	山崎 莉子さん（小川南小） ①ペットボトルのキャップを資源ごみに
8	益子 久美さん（大山田小） ①「奈良の大仏・水戸黄門ゆかりの那珂川町」としての歴史を活かした町づくり	16	小口 楓美さん（馬頭小） ①子どもが遊べる場所について



子ども議会の様子



子ども議会に出席した皆さんと記念撮影

議会のうごき

平成21年8月

- 6日(木) 日光市議会特別委員会行政視察
- 19日(水) 那珂川町子ども議会
議会全員協議会

9月

- 1日(火) 議会運営委員会
- 8日(火)~15日(火)
平成21年第5回定例会
- 10日(木) 総務企画常任委員会
- 11日(金) 教育民生常任委員会
- 14日(月) 産業建設常任委員会
- 28日(月) 南那須地区広域行政議会
- 30日(水) 議会広報特別委員会

10月

- 9日(金) 総務企画常任委員会
教育民生常任委員会
地域振興策に関する調査特別委員会
議会全員協議会
- 14日(水) 静岡県西伊豆町議会行政視察
- 15日(木) 議会広報特別委員会
- 19日(月) 議会運営委員会
- 23日(金) 平成21年第6回臨時会
- 27日(火) 県町村議会議長会議員研修
- 28日(水)~29日(木)
群馬県甘楽町議会行政視察
- 29日(木) 議会広報特別委員会

11月

- 5日(木) 県町村議会議長会定期総会

議員辞職許可

大森富夫議員から議員辞職願が提出され、10月14日、辞職が許可されました。

議会広報特別委員会委員
小林 盛

「議会だより」は、皆様に議会の様子を出来るだけわかりやすくお伝えしていくために、毎号、内容の改善を行い、見やすい広報紙編集に努めています。編集に関して、ご意見・ご提言がありましたら是非お寄せ下さい。

日光市議会地域活性化対策調査特別委員会、静岡県西伊豆町議会がイノシシ肉加工施設の調査のため、群馬県甘楽町議会総務・社会常任委員会が学校統廃合及び跡地利用の調査のため来町しました。

議会行政視察来町

●表紙写真
撮影 薄井 裕 氏
(写真家)
表題 「収穫のころ」
撮影 那珂川町富山地内

読みやすい「議会だより」の発行に向けて

議会広報特別委員会では、町民の皆様が読みやすい・わかりやすい「議会だより」の編集に心がけています。より良い議会だよりをお届けしていくため、毎号、委員会から広報に関するご意見・ご感想をお伺いしています。ご協力をお願いします。ご意見・ご感想をいただきました皆様には、お礼を申し上げますとともに、いただきました貴重なご意見

等を参考に、より良い議会だよりの編集に努めてまいります。

議会会議録の閲覧

議会の会議録は、議会事務局及び町図書館で閲覧できます。

ホームページ

町ホームページに議会の日程や会議の結果を掲載しています。是非ご覧ください。

URL <http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp>

議会を傍聴しませんか

皆さんの身近な問題などが審議されます。あなたも一度傍聴してみませんか。

12月定例会（平成21年第8回那珂川町議会定例会）は、12月8日開会の予定です。議場は、小川庁舎3階です。

ケーブルテレビで議会が生中継されます。

編集後記

秋の収穫も一段落し、収穫の喜びを感じているところです。心配された台風18号の被害もほとんどなく安心しています。

8月19日には、那珂川町となつて初めての「子ども議会」が開催されましたが、子どもたちが町の将来を真剣に考えている様子が伺え、議員としての責任の重さを再認識したところです。

国においては、自由民主党から民主党へと政権が移り、歴史的な政策等の転換期を迎えておりますが、今後、当町のような中山間地域に、どのような影響が出てくるのか心配しているところです。